

製品名: REPS1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17026**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	REPS1
別名	REPS1; RalBP1-associated Eps domain-containing protein 1; RalBP1-interacting protein 1
遺伝子 ID	85021.0
SwissProt ID	Q96D71
免疫原	抗血清はヒト REPS1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 597-646

背景

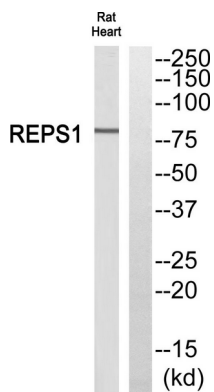
この遺伝子は、シグナル伝達、エンドサイトーシス、および細胞骨格変化に関与するタンパク質と相互作用する、2つのEHドメインを持つシグナル伝達アダプタータンパク質をコードしています。インターセクチン1がクラスリン被覆小窩から単離された際に、

コードされているタンパク質はインターセクチン1 および Src 相同性3 ドメイン成長因子受容体結合2 様 (エンドフィリン) 相互作用タンパク質1 と共存することが確認されています。また、コードされているタンパク質は、シナプス小胞表面の細胞質タンパク質であるアンフィフィシンと相互作用することが示されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2014 年 3 月],機能: 活性化 EGF 受容体と Ral-GTPase の細胞内作用を調整する可能性がある。 ,PTM: EGF はチロシン残基のリン酸化を刺激する。 ,類似性: EF ハンドドメインを 1 つ含む。 ,類似性: EH ドメインを 1 つ含む。 ,サブユニット: ホモ二量体 (潜在的) 。 RAB11FIP2 と相互作用する。 RALBP1、CRK、GRB2 と相互作用する。 RALBP1 への結合は Ral 結合活性に影響を与えない。 CRK および GRB2 の SH3 ドメインと複合体を形成し、EGF 応答性チロシンキナーゼと結合する可能性がある。 ,

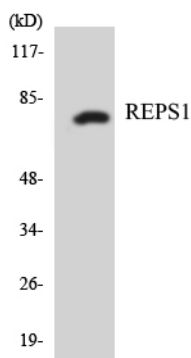
研究分野

-

画像データ



REPS1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは REPS1 ペプチドでブロッキングされている。



REPS1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。